

合い言葉 「愛共に」「夢大きく」

志比内広場

令和3年6月25日発行 東神楽町立志比内小学校・志比内公民館 第3号

「今が子どものやる気を高めるゴールデンタイム」 ～子どもが頑張った後が声かけのチャンス～

校長 木末携志

ようやく気温が上昇し始め、本格的な夏の到来を待つばかりとなりました。依然として、緊急事態宣言の解除後も、学校現場では新型コロナウイルス感染防止対策を継続しております。お陰様で、大きなトラブルもなく、子どもたちは毎日元気に登校し、授業や行事等で元気に学んでいます。

さて、子どものやる気を引き出す最も効果的な方法は、「励まし・ほめる」ことです。いつもの何気ない子どもたちの言動にアンテナを張り、常に肯定的にとらえる事が大切です。「〇〇ができるようになったよ。」と子どもが喜んで帰って来たときは、子どもを伸ばす大きなチャンスです。そのときに「よく頑張ったね」「〇〇がいいね」と言えるかどうか勝負です。そのチャンスを逃すと逆にやる気がなくなってしまうものです。子どもは自分なりに頑張ったときに、その頑張りを認めてあげることで、意欲が大きく高まるのです。逆にうまくいかなかったときにも、「この前より良くなったね。」「結果は出なかったけど方向はまちがっていないよ。」と言えることはもっと大切です。またうまくいかなかったときに方法や頑張る見通しを示してやることで、子どもの頑張りは次につながるものです。たとえばかけ算の九九の苦手な子に、まず二の段を教え、一つでも覚えたら「そうそう、その調子」と明るくほめることです。逆に「二の段だけでもやっておきなさいよ」という命令だけでは、うまくいかないものです。私も若いときによく失敗しましたが、「これをやりなさい。」と子どもに仕事をさせても、後は言いっ放しではどうでしょうか。子どもはたとえ実行しても、どんどんやる気を失います。そんな時に、「よくやったね。」と最後まで見届けて、フォローすることが大切なのです。途中で子どもの行動に目配りし、そのときどきに合った言葉かけをすることが最も大切なのです。これがよく言う「魔法の言葉」になっていく



のです。子ども自身が失敗やミスはよくわかっていることが多いものです。そんなときに、追い討ちをかけられると「どうせ自分はだめだ」と思いがちです。子どもを大きく育てるには、結果だけを見るのではなく、努力した過程で必ずほめたり、失敗には励ましが必要なのです。子どもが頑張った直後こそが、子どものやる気を高めるゴールデンタイムなのです。本校では今年度児童の自己肯定感を高める声かけに力を入れ、教育活動を進めています。

学習指導員 & スクールサポーター

北海道教育委員会は、学校が新型コロナウイルス感染症対策を行いながら学習を進めるために先生方のサポートを行う『学習指導員』派遣事業と学校の働き方改革を進めるために先生方のサポートを行う『スクールサポーター』派遣事業を行っています。

志比内小でも派遣を希望していたところ、来てくれる方が決まりましたので、ご紹介します。



※ 週2回出勤予定です。

歯みがき週間！

6月4日～10日は「歯と口の健康習慣」です。そこで、志比内小では6月14日（月）～18日（金）を歯みがき週間とし、給食後の歯みがきの時間を見直す取り組みを行いました。

歯みがき時間を3分間と決めて、時計で計りながらしっかりと磨きました。



森林教室

木を育てる学習を通して、自然を大切にする心を育てる目的で、2年に一度、森林教室を行っています。今年度は実施する年で、6月17日に森林管理署の方に来ていただき、「どんぐりの木の苗植え」「ネイチャーゲーム」「木育について話を聞く」活動を行いました。

子どもたちは意欲的に取り組み、どんぐりを育てるポットを3つも作った児童がいました。

今回は9月に行う予定で、育てた苗木を天人峡の方に移植しに行きます。



- 7月 1日（木）安全点検日
高学年合同学習
参観日
- 7月 2日（金）水泳学習①
- 7月 5日（月）児童会
- 7月 6日（火）職員会議
- 7月 7日（水）水泳学習②
- 7月 8日（木）防犯教室
- 7月12日（月）クラブ
- 7月19日（月）水泳学習③
- 7月20日（火）夏の集会
- 7月21日（水）1学期終業式・大掃除
- 7月22日（木）～8月16日（月）
夏季休業